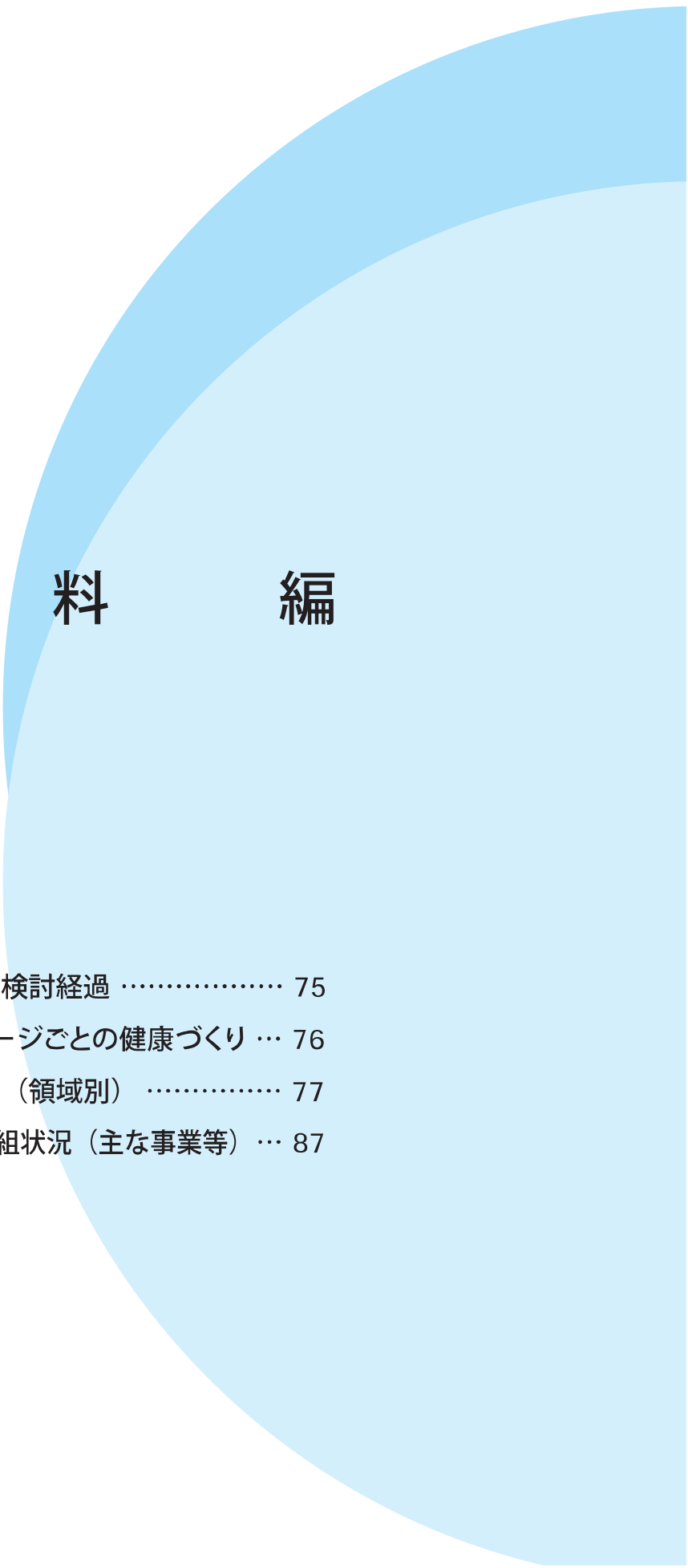




資 料 編

- 1 中間評価の検討経過 …… 75
- 2 ライフステージごとの健康づくり … 76
- 3 目標値一覧（領域別） …… 77
- 4 札幌市の取組状況（主な事業等） … 87

1 中間評価の検討経過

平成18年10月19日	平成18年度 札幌市健康づくり推進協議会 ・「健康さっぽろ21」中間評価委員会の設置 ・「健康さっぽろ21」の推進に関する市民意識調査の実施内容について
平成18年11月1日 ～11月20日	「健康さっぽろ21」の推進に関する市民意識調査の実施 ・健康づくりに関する市民意識調査 ・思春期に関する市民意識調査 ・母子保健に関する市民意識調査 (4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児)
平成19年3月7日	平成18年度 札幌市健康づくり推進協議会「中間評価委員会」 ・「健康さっぽろ21」の推進に関する市民意識調査結果
平成19年11月3日 ～11月24日	中間評価（素案）に対する意見収集 (配布および「健康さっぽろ21」ホームページでの公開)
平成19年12月21日	平成19年度 札幌市健康づくり推進協議会「中間評価委員会」 ・「健康さっぽろ21～中間評価と今後の推進」(素案)の審議
平成20年1月22日	健康づくり対策推進部会（札幌市内部委員会専門部会） ・健康さっぽろ21の中間評価及び今後の推進について
平成20年3月12日	平成19年度 札幌市健康づくり推進協議会 ・「健康さっぽろ21～中間評価と今後の推進」について

2 ライフステージごとの健康づくり

	幼年期 (0～4 歳)	少年期 (5～14 歳)	青年期 (15～24 歳)	壮年期 (25～44 歳)	中年期 (45～64 歳)	高年期 (65 歳以上)
母子保健	かかりつけ小児科医をもつ 新生児訪問指導を受ける 乳幼児健診を受ける	性や性感染症、薬物に関する正しい知識を学習する	望まない妊娠や性感染症を防ぐ 妊娠中の喫煙・飲酒をしない 育児に関する悩みを相談する		女性の健康問題について相談や受診をする	
栄養・食生活	栄養バランスのとれた食事をする	毎日朝食を食べる 食育について正しく学ぶ	栄養バランスのとれた食事をする 無理なダイエットはしない	外食栄養表示の活用	骨粗しょう症予防のためカルシウムをとる 脂肪や塩分を控え、栄養バランスのとれた食事をする	栄養バランスのとれた食事をする
身体活動・冬季の健康づくり	外で元気に遊ぶ 不慮の事故に気をつける 親子で体を使って遊ぶ		運動習慣を定着させる 運動により体力の維持・増進をはかる		積極的に外出す 冬期の転倒・骨折を予防する	
休養・心の健康づくり	早寝早起きなど規則正しい生活をする 親子のスキンシップを持つ	悩み事を誰かに相談する	十分な睡眠をとる・悩み事を誰かに相談する 疲労やストレスをためない		趣味や旅行など余暇を楽しむ	
たばこ	妊娠・子育て中の家族の喫煙を防ぐ	喫煙の害について正しく学ぶ 未成年の喫煙を防ぐ	喫煙を減らす 妊婦の喫煙を防ぐ			
アルコール	授乳中の母親の飲酒を防ぐ	未成年の飲酒を防ぐ 飲酒の害について正しく学ぶ	適度な飲酒を心がける 妊婦の飲酒を防ぐ			
歯の健康	フッ素塗布をする 歯磨きを習慣化する 甘い飲み物をとり過ぎない		歯科検診・歯周疾患検診を受診する 歯間部清掃用具を使用する			
糖尿病・循環器病・がん			体重管理を心がける 定期的な健康診断・がん検診を受ける			
健康危機管理	予防接種を受ける 手洗い・うがいを習慣づける		感染症について正しく学ぶ 感染症などに不安のある人は早めに検査を受ける			インフルエンザ予防接種を受ける

3 目標値一覧（領域別）

評価 ◎：目標を達成している、○：目標値に向かって推移している、△：変化なしまたは目標値から遠ざかっている

－：評価できない

指標 ☆：新規指標、★：内容や目標を変更する指標、▲：削除する指標

※全国の計画策定時の値、現況値、目標値は、「健康日本21中間評価報告書」「健やか親子21中間評価報告書」による。

注）*の現況値等は、策定時の値を把握した調査と現況値等を把握した調査が異なっている数値

**の現況値等は、食品成分表の改訂にともなった重量変化率の換算が必要な数値

（1）母子保健

①思春期の心と身体の健康づくり

指 標		計画策定時の値	現況値	目標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時の値	現況値	目標
10代の自殺率 (人口10万対)	10～14歳	3.3	1.2	なくす	○	平成18年札幌市衛生年報	1.1	0.8	減少傾向へ
	15～19歳	9.2	5.2				6.4	7.5	
悩みを相談する人がいる	16～19歳	80.8%	84.9%	増やす	○	平成18年度思春期に関する市民意識調査	—	—	—
ふれあい体験学習実施校		1校	2校	増やす	○	平成18年度実績	—	—	—
☆ 毎日朝食をとる小学生		—	83.3%	100%	△	平成17年度札幌市の児童生徒の実態に関する基礎調査	—	—	—
毎日朝食をとる中・高校生		79.5%	75.9%	100%	△	平成18年度健康づくりに関する市民意識調査	欠食率：6.0%	6.2%	0%
未成年の喫煙を認めない	16～19歳	35.6%	49.4%	100%	○	平成18年度思春期に関する市民意識調査	—	—	—
未成年の喫煙率	15～19歳	15.8%	5.5%	なくす	○	平成18年度健康づくりに関する市民意識調査	中学1年男子：7.5% 中学1年女子：3.8% 高校3年男子：36.9% 高校3年女子：15.6%	3.2% 2.4% 21.7% 9.7%	0%
未成年の飲酒を認めない	16～19歳	18.6%	23.3%	100%	○	平成18年度思春期に関する市民意識調査	—	—	—
未成年の飲酒率	15～19歳	38.9%	22.0%	なくす	○	平成18年度健康づくりに関する市民意識調査	中学3年男子：26.0% 中学3年女子：16.9% 高校3年男子：53.1% 高校3年女子：36.1%	16.7% 14.7% 38.4% 32.0%	0%
10代の人工妊娠中絶率（人口千対）		24.0	15.2	なくす	○	平成18年札幌市衛生年報	12.1	10.5	減少傾向へ
避妊法を正確に知っている人	16～19歳	28.0%	42.2%	100%	○	平成18年度思春期に関する市民意識調査	18歳男子：26.2% 18歳女子：28.3%	17～19歳男子：12.5% 女子：22.7%	100%
保健センター主催の性教育（ヘルスケア事業（授業支援事業）含む）※		42回	124回	増やす	○	平成18年度実績	—	—	—
正しい性感染症の知識を持つ人	16～19歳	4.6%	6.0%	100%	○	平成18年度思春期に関する市民意識調査	性器クラミジア感染症 高校生男子：11.3% 高校生女子：16.5% 淋病感染症 高校生男子：15.4% 高校生女子：11.5%	48.4% 55.8% 19.9% 20.1%	100%

※「保健センター主催の性教育」は、思春期ヘルスケア事業（授業支援事業）を含むものとし、現況値に実績を計上する。（なお、思春期ヘルスケア事業は平成14年度から実施のため、計画策定時の値には含まれていない。）

指 標		計画 策定時 の値	現況値	目標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時 の値	現況値	目標
薬物乱用について学んだ ことがある人	16～19 歳	91.7%	94.1%	100%	○	平成 18 年度思春期に関 する市民意識調査	外部機関と連携した薬 物乱用防止教育等を実施 している中学校・高校 の割合 中学校： 警察職員 33.8% 麻薬取締官等 0.1% 高等学校： 警察職員 32.7% 麻薬取締官等 4.0%	調査中	100%
薬物への正しい知識を 持つ人	16～19 歳	22.3%	18.4%	100%	△	平成 18 年度思春期に関 する市民意識調査	急性中毒 依存症 中学 3 年 男子 62.3% 82.5% 女子 69.1% 90.6% 高校 3 年 男子 70.9% 87.1% 女子 73.0% 94.0%	調査中	100%
薬物乱用について肯定的 な人	16～19 歳	15.1%	5.7%	なくす	○	平成 18 年度思春期に関 する市民意識調査	—	—	—

②生涯を通した女性の健康づくり

指 標		計画 策定時 の値	現況値	目標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時 の値	現況値	目標
妊娠 11 週以下の届出率		83.9%	83.5%	100%	△	平成 18 年札幌市衛生 年報	62.6%	66.2%	100%
人工妊娠中絶率（人口千対）	20～24 歳	41.6	35.7	半減	○	平成 18 年札幌市衛生 年報	20.5	19.6	半減
	25～29 歳	26.5	22.1		○		15.1	14.5	
	30～34 歳	20.9	16.3		○		14.5	12.3	
妊婦の喫煙率		18.7%	13.0%	なくす	○	平成 18 年度母子保健 に関する市民意識調 査	10.0%	3 ヶ月児：7.3% 1 歳 6 か月児：7.9% 3 歳児：8.3%	なくす
妊婦の受動喫煙に配慮する人		32.3%	35.8%	100%	○	平成 18 年度母子保健 に関する市民意識調 査	—	—	—
妊婦の飲酒率		40.5%	30.8%	なくす	○	平成 18 年度母子保健 に関する市民意識調 査	18.1%	3 ヶ月児：14.9% 1 歳 6 か月児：16.6% 3 歳児：16.7%	なくす
電話による健康相談		18,990 件	19,114 件	増やす	○	平成 17 年度保健セン ター実績	—	—	—
母親教室に参加の初妊婦		46.2%	53.2%	増やす	○	平成 17 年度保健セン ター実績	—	—	—
妊産婦健康相談の利用者		1,272 人	903 人	増やす	△	平成 17 年度保健セン ター実績	—	—	—
母性健康相談の利用者		2,200 人	2,746 人	増やす	○	平成 17 年度保健セン ター実績	—	—	—

③子どものすこやかな成長への支援

指 標		計画 策定時 の値	現況値	目 標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時 の値	現況値	目 標
ゆったりとした気分で育児をしている母親		88.9%	88.7%	増やす	△	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	68.0%	3ヵ月児:77.4% 1歳6か月児:69.0% 3歳児:58.3%	増加傾向 へ
子育てに心配ごと がある母親	4か月児の母親	45.5%	43.1%	減らす	○	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	子育てに自信が 持てない母親: 27.4%	3ヵ月児:19.0% 1歳6か月児:25.6% 3歳児:29.9%	減少傾向 へ
	10か月児の母親	53.9%	46.2%		○				
	1歳6か月児の母親	64.4%	61.5%		○				
	3歳児の母親	70.1%	70.2%		△				
育児に参加する父親		94.8%	94.1%	現状値 を維持	△	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	82.8%	3ヵ月児:89.3% 1歳6か月児:93.8% 3歳児:83.3%	増加傾向 へ
父親の育児参加に満足する母親		17.5%	30.0%	増やす	○	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	—	—	—
子どもと遊ぶ父親		86.4%	86.1%	増やす	△	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	90.8%	3ヵ月児:94.2% 1歳6か月児:93.0% 3歳児:90.2%	増加傾向 へ
育児期間に受動喫煙に配慮する人		39.1%	40.2%	増やす	○	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	—	—	—
かかりつけ小児科医がいる		86.0%	80.5%	100%	△	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	1〜6歳児 81.7%	1歳6か月児:86.3% 3歳児:86.4%	100%
かかりつけ歯科医が いる	1歳6か月児	23.3%	25.0%	100%	○	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	—	—	—
	3歳児	38.4%	47.0%		○				
小児科の救急医療機関を知っている人		84.8%	82.6%	100%	△	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	1歳6か月児: 86.6% 3歳児:88.6%	87.8% 89.9%	100%
BCG接種を受けた1歳児		97.5%	99.2%	現状値 を維持	◎	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	86.6%	92.3%	95%
変更 ↓ 予防接種を受けた 1歳6か月児	三種混合	91.2%	92.0%	95% 以上	○	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	87.5%	85.7%	95%
	麻しん	84.3%	93.0%		○		70.4%	85.4%	
★1	麻しん予防接種を受けた1歳児		—	85.1%	95.0%	平成18年度実績	—	—	—
☆1	麻しん予防接種を受けた就学前年の児		—	82.6%	95.0%	平成18年度実績	—	—	—
不慮の事故の死亡率 (人口10万対)	0歳	39.1	14.1	なくす	○	平成18年札幌市衛生年 報	18.2	13.4	半減
	1〜4歳	1.6	5.0		△		6.6	6.1	
うつ伏せ寝している乳児		8.1%	4.7%	なくす	○	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	3.5%	3ヵ月児:1.2% 1歳6か月児:3.3% 3歳児:2.4%	なくす
母乳のみを飲んだ1か月児		56.3%	60.9%	増やす	○	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	44.8%	調査中	増加傾向 へ
心肺蘇生法を知っている親		24.3%	27.3%	100.0%	○	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	1歳6か月児: 19.8% 3歳児:21.3%	15.3% 16.2%	100%
事故防止の工夫をしている家庭		19.4%	22.4%	100.0%	○	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	1歳6か月児: 4.2% 3歳児:1.8%	4.5% 2.9%	100%
変更 ↓	新生児訪問指導実施率(第一子)		74.3%	84.0%	増やす	○	平成17年度保健センタ ー実施分	—	—
★2	新生児訪問指導実施率		—	63.5%	増やす	平成18年度実績	—	—	—
虐待していると思うことがある親		10.2%	7.8%	減らす	○	平成18年度母子保健に関する市民意識調査	18.1%	3ヵ月児:4.3% 1歳6か月児:11.5% 3歳児:17.7%	減少傾向 へ
児童相談所の虐待受理件数		301件	310件	減らす	△	札幌市児童相談所平成 18年度統計	17,725件	33,408件	増加を経て減少へ

★1☆1: 平成18年度の予防接種法の改正により、第1期(生後12か月から24か月未満)に、麻しん風しん混合ワクチンを1回、さらに第2期(5歳以上7歳未満で小学校に就学する前年の4月から3月末まで)にもう1回行うこととなったため、指標についても「1歳6か月児」を変更し、「1歳児」「就学前年の児」とする。

★2: これまで、新生児訪問指導は第1子を中心に実施していたが、国が平成19年度から生後4か月までの全戸訪問を創設したことに伴い、本市においても全出生児を対象として、生後4か月までの訪問指導を実施することとし、指標を第1子に限定しない「新生児訪問指導実施率」とする。

(2) 栄養・食生活

	指 標	計画 策定時 の値	現況値	目標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時 の値	現況値	目標
	20 歳代女性のやせ	23.1%	21.2%	15%以下	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	23.3%	21.4%	15%以下
	30 歳代男性の肥満	31.2%	24.8%	20%以下	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	20～60 歳代男性: 24.3%	29.0%	15%以下
	脂肪エネルギー比率が適正な 20～49 歳	19.9%	30.2%	40%以上	○	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	—	—	—
変更 ↓	食塩摂取量が 10g 未満の成人	40.4%	53.0%	50%以上	◎	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	—	—	—
★1	食塩摂取量が 10g 未満の成人男性	—	43.1%	50%以上	△	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	—	—	—
★2	食塩摂取量が 8g 未満の成人女性	—	37.9%	50%以上	△	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	—	—	—
	成人の牛乳・乳製品摂取量	124g	105.5g	150g 以上	△	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	107 g	101g**	130 g 以上
	成人の野菜摂取量	263g	254g	350g 以上	△	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	292 g	267g**	350 g 以上
	(緑黄色野菜の摂取量)	(77g)	(89g)	(120g 以上)	○		(98 g)	89g**	(120 g 以上)
	成人の果物摂取量	83.1g	102g	150g 以上	○	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	(北海道) 138 g ^{※1}	(北海道) 190.8g ^{※1}	(北海道) 150 g 以上 ^{※1}
☆	-----> 小学生	—	83.3g	100%	△	平成 17 年度札幌市の児童生徒の実態に関する基礎調査	—	—	—
	-----> 中・高校生	79.5%	75.9%	100%	△				
	-----> 20 歳代男性	49.8%	51.1%	70%以上	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	欠食率 中・高校生 6.0%	6.2%	中・高校生 0%
	-----> 20 歳代女性	59.3%	64.8%		○		20 歳代男性 32.9%	34.3%	20～39 歳男性 15%以下
	-----> 30 歳代男性	52.9%	53.1%		○		30 歳代男性 20.5%	25.9%	
	毎日朝食をとる人								
	食生活に改善意欲がある人	71.1%	73.7%	80%以上	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	成人男性 55.6%	59.1%	80%以上
	成人女性 67.7%							67.3%	
	病気と食事の関係をよく知っている人	32.2%	36.7%*	80%以上	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	—	—	—
	栄養成分表示をしている店舗数	307 カ所	1021 カ所	3,000 カ所	○	平成 19 年 3 月現在	—	—	—
	外食料理栄養成分表示などを参考にする人	46.8% ^{※2}	35.9%* 男性 23.5% 女性 45.5%	80%以上	△	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	外食や食品購入時 男性: (20～69 歳) 20.1%	18.0%	30%以上
							女性: (20～69 歳) 41.0%	40.4%	55%以上
☆	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を知っている人	—	55.6%	80%以上	△	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	—	—	80%以上
☆	食事バランスガイドなど ^{※3} を活用する人	—	52.0%	60%以上	△	平成 19 年度市民アンケート	—	—	—

※1:「北海道健康増進計画『すこやか北海道21改訂版』」による北海道の数値。

※2: 計画策定時の数値は「平成 12 年市政世論調査」

※3:「食事バランスガイド」、「札幌市食生活指針」、「日本人の食事摂取基準」、「6 つの基礎食品」、「3 色分類」、「その他の指針」

★1★2:「日本人の食事摂取基準(2005 年版)」では、成人女性の食塩摂取量が 8g 未満となったため、これまでの指標を変更し、「食塩摂取量が 10g 未満の成人男性」と「食塩摂取量が 8g 未満の成人女性」とする。

(3) 身体活動・冬季の健康づくり

①身体活動・運動

指 標		計画 策定時 の値	現況値	目標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時 の値	現況値	目標
意識的に運動している人 (15 歳以上)	男性	48.2%	50.5%	58%以上	○	平成 18 年度健康 づくりに関する 市民意識調査	成人男性 51.8%	54.2%*	63%以上
	女性	42.3%	48.8%	52%以上	○		成人女性 53.1%	55.5%*	
運動習慣のある成人	男性	21.5%	26.6%	32%以上	○	平成 18 年度健康 づくりに関する 市民意識調査	28.6%	30.9%	39%以上
	女性	21.4%	28.2%		○		24.6%	25.8%	35%以上
1 日あたりの歩数 (15 歳以上)	男性	7,654 歩	7,282 歩	8,700 歩以上	△	平成 18 年国民栄 養調査・札幌市調 査	成人男性 8,202 歩	7,532 歩	9,200 歩以上
	女性	7,238 歩	6,908 歩	8,200 歩以上	△		成人女性 7,282 歩	6,446 歩	8,300 歩以上
70 歳以上の 1 日あたりの歩数	男性	6,091 歩	4,943 歩	7,100 歩以上	△	平成 18 年国民栄 養調査・札幌市調 査	5,436 歩	5,386 歩	6,700 歩以上
	女性	5,092 歩	5,005 歩	6,100 歩以上	△		4,604 歩	3,917 歩	5,900 歩以上
外出に積極的な 60 歳以上の人	男性	57.0%	66.7%	67%以上	○	平成 18 年度健康 づくりに関する 市民意識調査	59.8%	51.8%*	70%以上
	女性	65.4%	65.7%	75%以上	○		59.0%	51.4%*	
地域活動等に参加している 60 歳以上の人	男性	37.4%	36.9%	47%以上	△	平成 18 年度健康 づくりに関する 市民意識調査	48.3%	66.0%*	58%以上
	女性	42.2%	46.7%	52%以上	○		39.7%	61.0%*	50%以上

②冬季の健康づくり

指 標		計画 策定時 の値	現況値	目標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時 の値	現況値	目標
冬期間に意識的に運動してい る人	男性	今後調査	53.3% (45.6%)*	増やす	—	平成 18 年度健康 づくりに関する 市民意識調査	—	—	—
	女性	今後調査	49.4% (44.8%)*		—				
運動習慣のある人	男性	21.5%	26.6%	32%以上	○	平成 18 年度健康 づくりに関する 市民意識調査	28.6%	30.9%	39%以上
	女性	21.4%	28.2%		○		24.6%	25.8%	35%以上
インフルエンザの予防接種を受けた 65 歳以上の人		29.5%	51.1%	増やす	○	平成 18 年度実績	—	—	—
成人の野菜摂取量 (緑黄色野菜の摂取量)		263g (77g)	254g (89g)	350g 以上 (120g 以上)	△ ○	平成 18 年札幌市 健康・栄養調査	292 g (98 g)	267g** 89g**	350 g 以上 (120 g 以上)
睡眠により疲労がとれない成人		26.3%	27.4%	24%以下	△	平成 18 年度健康 づくりに関する 市民意識調査	23.1%	21.2%*	21%以下

※アンケートの設問で「除雪」のみを選択した場合を除いて集計した数値

(4) 休養・こころの健康づくり

①休養

指 標		計画 策定時 の値	現況値	目 標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時 の値	現況値	目 標
睡眠により疲労がとれない成人		26.3%	27.4%	24%以下	△	平成 18 年度健康 づくりに関する市 民意識調査	23.1%	21.2%*	21%以下
1日あたりの余暇活動時間（15 歳以上）		6 時間 23 分	6 時間 50 分	増やす	○	平成 13 年社会生 活基本調査	(北海道) 5 時間 10 分※	(北海道) 5 時間 31 分※	(北海道) 5 時間 31 分 以上※
外出に積極的な 60 歳以上 の人	男性	57.0%	66.7%	67%以上	○	平成 18 年度健康 づくりに関する市 民意識調査	59.8%	51.8%*	70%以上:
	女性	65.4%	65.7%	75%以上	○		59.0%	51.4%*	
地域活動等に参加してい る 60 歳以上の人	男性	37.4%	36.9%	47%以上	△	平成 18 年度健康 づくりに関する市 民意識調査	48.3%	66.0%*	58%以上
	女性	42.2%	46.7%	52%以上	○		39.7%	61.0%*	50%以上

※「北海道健康増進計画『すこやか北海道21改訂版』」による北海道の数値。

②こころの健康づくり

指 標	計画 策定時 の値	現況値	目 標	評価	現況値出典	全 国		
						計画策定時 の値	現況値	目 標
悩みを相談する人がいる (16～19 歳)	80.8%	84.9%	増やす	○	平成 18 年度思春期 に関する市民意識 調査	—	—	—
ストレスを感じている成人	73.6%	73.2%	66%以下	○	平成 18 年度健康づ くりに関する市民 意識調査	54.6%	62.2%*	49%以下
自殺率 (人口 10 万対)	26.1	25.2	減らす	△ ^{※1}	平成 18 年札幌市衛 生年報	25.2 ^{※2}	25.2 ^{※2}	20%減 ^{※3}

※1:一度減少したものの再び増加傾向がみられることから、評価は△とする。

※2:警察庁「平成 18 年中における自殺の概要資料」による。

※3:平成 19 年度版「自殺対策白書」による(平成 28 年までの 10 年間で、基準年(平成 17 年)の自殺死亡率を 20%以上減少させる目標を掲げている)。

(5) たばこ

指 標		計画 策定時 の値	現況値	目標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時 の値	現況値	目標
未成年の喫煙率（15～19 歳）		15.8%	5.5%	なくす	○	平成 18 年度健康 づくりに関する市 民意識調査	中学 1 年男子: 7.5% 中学 1 年女子: 3.8% 高校 3 年男子: 36.9% 高校 3 年女子: 15.6%	3.2% 2.4% 21.7% 9.7%	0%
妊婦の喫煙率		18.7%	13.0%	なくす	○	平成 18 年度母子 保健に関する市民 意識調査	10.0%	3 ヶ月児: 7.3% 1 歳 6 か月児: 7.9% 3 歳児: 8.3%	なく す
成人の喫煙率	男性	53.2%	39.9%	減らす	○	平成 18 年度健康 づくりに関する市 民意識調査	—	39.3 ^{※1}	—
	女性	25.4%	19.5%		○		—	11.3 ^{※1}	—
▲1 禁煙支援の実施設		今後調査	210 カ所	増やす	—	平成 19 年 9 月札幌 市調べ	—	—	—
▲2 禁煙指導を受けた人		100 人	H13～17 延べ 879 人	増やす	○	（保健センター実施 分）	—	—	—
禁煙・完全分煙対策に取り組む施設 （ここから健康づくり応援団登録数）※2		今後調査	198 カ所	増やす	—	平成 18 年度末「こ こから健康づくり 応援団」登録数	—	—	—
妊婦の受動喫煙に配慮する人		32.3%	35.8%	100%	○	平成 18 年度母子 保健に関する市民 意識調査	—	—	—
育児期間に受動喫煙に配慮する人		39.1%	40.2%	増やす	○	平成 18 年度母子 保健に関する市民 意識調査	—	—	—
喫煙が及ぼす健康影響 についての十分な知識 を持つ未成年者（16～19 歳）	肺がん	99.1%	98.2%	100%	△	平成 18 年度思春 期に関する市民意 識調査	15 歳以上 肺がん 84.5% 気管支炎 65.5% 喘息 59.9% 心臓病 40.5% 歯周病 27.3% 妊娠に関連した 異常 79.6%	肺がん 87.5%* 気管支炎 65.6%* 喘息 63.4%* 心臓病 45.8%* 歯周病 35.9%* 妊娠に関連した 異常 83.2%*	100%
	気管支炎	56.0%	52.0%		△				
	喘息	40.6%	43.5%		○				
	心臓病	19.1%	27.8%		○				
	歯周病	30.7%	41.1%		○				
	妊娠に関連した 異常	77.3%	77.0%		△				
喫煙が及ぼす健康影響 についての十分な知識 を持つ人（15 歳以上）	肺がん	87.1%	95.2%	100%	○	平成 18 年度健康 づくりに関する市 民意識調査			
	気管支炎	57.4%	61.0%		○				
	喘息	51.0%	58.6%		○				
	心臓病	41.8%	50.9%		○				
	歯周病	18.6%	27.9%		○				
	妊娠に関連した 異常	62.6%	62.5%		△				

▲1: 「禁煙支援の実施設」の対象としては、禁煙外来を実施している医療機関としていたが、医療機関においては禁煙の指導が保険適用となり、当初目標を達成していると考えられることから、今後指標から削除する。

▲2: 医療機関による禁煙指導が保険適用となり、禁煙支援の環境が整備されたことから、保健センターによる禁煙指導は平成 17 年度で終了しているため、今後指標から削除する。

※1: 平成 17 年「国民健康・栄養調査結果の概要」による。

※2: 公共施設においては完全分煙が進んできたことから、策定時は「分煙対策に取り組む公共施設」としていた指標を、民間施設を含めた「禁煙・完全分煙に取り組む施設（ここから健康づくり応援団登録数）」とする。なお、現況値は平成 18 年度末登録数。

(6) アルコール

指 標		計画策定時の値	現況値	目標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時の値	現況値	目標
成人の多量飲酒者	男性	7.9%	5.6%	減らす	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	4.1%	5.4%*	3.2%以下
	女性	2.1%	1.9%		○		0.3%	0.7%*	0.2%以下
未成年の飲酒率（15～19 歳）		38.9%	22.0%	なくす	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	中学 3 年男子: 26.0% 中学 3 年女子: 16.9% 高校 3 年男子: 53.1% 高校 3 年女子: 36.1%	16.7% 14.7% 38.4% 32.0%	0%
妊婦の飲酒率		40.5%	30.8%	なくす	○	平成 18 年度母子保健に関する市民意識調査	18.1%	3 か月児: 14.9% 1 歳 6 か月児: 16.6% 3 歳児: 16.7%	なくす

(7) 歯の健康

指 標		計画策定時の値	現況値	目標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時の値	現況値	目標
むし歯になるおそれがある 1 歳 6 か月児 ^{※1}		28.8%	29.7%	20%以下	△	平成 18 年札幌市衛生年報	—	22.6%	—
むし歯のない 3 歳児		70.3%	75.8%	80%以上	○	平成 18 年札幌市衛生年報	59.5%	68.7%*	80%以上
フッ素塗布を受けた 3 歳児		51.9%	66.3%	65%以上	◎	平成 18 年度母子保健に関する市民意識調査	39.6%	37.8%	50%以上
12 歳児のむし歯の数		3.4 本	1.9 本	1 本以下	○	平成 18 年度学校保健統計調査	2.9 本	1.7 本 ^{※2}	1 本以下
24 本以上の歯を保持する 50 歳		78.9% ^{※3}	81.8%	増やす	○	平成 18 年度歯周病検診	60 歳 (55～64 歳) 44.1%	60.2%	50%以上
歯間部清掃用具を使用する人	40 歳代	36.9%	39.8%	65%以上	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	40 歳 (35～44 歳) 19.3%	39.0%	50%以上
	50 歳代	31.3%	39.4%	60%以上	○		50 歳 (45～54 歳) 17.8%	40.8%	
過去 1 年間に歯科健診を受けた成人		46.2%	47.6%	52%以上	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	60 歳 (55～64 歳) 16.4%	35.7%	30%以上
成人の喫煙率	男性	53.2%	39.9%	減らす	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	—	—	—
	女性	25.4%	19.5%		○				

※1: 1 歳 6 か月児健診でう蝕罹患型 O₂ 型と判定された児

※2: 「学校保健統計調査(平成 18 年度)」による。

※3: 計画策定時の数値は「平成 16 年度歯周病検診」

(8) 糖尿病・循環器病・がん

指 標		計画 策定時 の値	現況値	目 標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時 の値	現況値	目 標
成人の肥満	男性 (20～60 歳代)	26.4%	25.3%	15%以下	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	(20～60 歳代) 24.3%	29.0%	15%以下
	女性 (40～60 歳代)	16.7%	19.1%	減らす	△		(40～60 歳代) 25.2%	24.6%	20%以下
脂肪エネルギー比率が適正な 20～49 歳		19.9%	30.2%	40%以上	○	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	—	—	—
1 日あたりの歩数 (15 歳以上)	男性	7,654 歩	7,282 歩	8,700 歩以上	△	平成 18 年国民栄養調査・札幌市調査	成人男性 8,202 歩	7,532 歩	9,200 歩以上
	女性	7,238 歩	6,908 歩	8,200 歩以上	△		成人女性 7,282 歩	6,446 歩	8,300 歩以上
運動習慣のある成人	男性	21.5%	26.6%	32%以上	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	28.6%	30.9%	39%以上
	女性	21.4%	28.2%	32%以上	○		24.6%	25.8%	35%以上
成人の野菜摂取量 (緑黄色野菜の摂取量)		263g (77g)	254g (89g)	350g 以上 (120g 以上)	△ ○	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	292g (98g)	267g** 89g**	350g 以上 120g 以上
成人の果物摂取量		83.1g	102g	150g 以上	○	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	(北海道) 138g※1	(北海道) 190.8g※1	(北海道) 150g 以上※1
食塩摂取量が 10g 未満の成人		40.4%	53.0%	50%以上	◎	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	—	—	—
★1	食塩摂取量が 10g 未満の成人男性	—	43.1%	50%以上	△	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	—	—	—
★2	食塩摂取量が 8g 未満の成人女性	—	37.9%	50%以上	△	平成 18 年札幌市健康・栄養調査	—	—	—
成人の喫煙率	男性	53.2%	39.9%	減らす	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	—	—	—
	女性	25.4%	19.5%		○		—	—	—
成人の多量飲酒者	男性	7.9%	5.6%	減らす	○	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	4.1%	5.4%*	3.2 以下
	女性	2.1%	1.9%		○		0.3%	0.7%*	0.2%以下
すこやか健診受診率		37.8%	51.4%	50%	◎	平成 18 年度実績	—	—	—
すこやか健診受診者	糖尿病の可能性の高い人の割合 (ヘモグロビン A1c6.1%以上)	8.3%	10.1%	減らす	△	平成 18 年度実績	—	—	—
	血圧の高い人の割合 (収縮期 140mmHg 以上) または (拡張期 90mmHg 以上)	37.5%	33.0%	減らす	○		—	—	—
	コレステロール値の高い人の割合 (総コレステロール 220mg/dl 以上)	41.2%	39.0%	減らす	○		—	—	—
	糖尿病に関する指導を受けた人の割合	—	11.1%※7	増やす	—	平成 18 年度実績	—	—	—
	循環器病に関する指導を受けた人の割合	—					—	—	—
☆	特定健康診査の実施率	—	今後調査※3	65%	△	札幌市国民健康保険事業	—	—	70%
☆	特定保健指導の実施率	—	今後調査※3	45%	△		—	—	45%
☆	メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少率	—	今後調査※3	10%の減少	△		—	【参考値】 該当者・予備群 男性(40～74 歳) (H16 年) 男性 1,400 万人 女性 560 万人	該当者・予備群 男性(40～74 歳) 10%以上の減少 女性(40～74 歳) 10%以上の減少
☆	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を知っている人	—	55.6%	80%以上	△	平成 18 年度健康づくりに関する市民意識調査	—	—	80%以上

変更
↓

平成 19 年度まで

平成 20 年度から

指 標		計画 策定時 の値	現況値	目標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時 の値	現況値	目標
★3	がん検診の受診率	肺がん	4.7%	3.8%	各検診とも 50%	平成 18 年度実績	—	—	—
		胃がん	10.9%	11.1%			—	—	—
		大腸がん	12.4%	15.1%			—	—	—
		乳がん	13.1%	17.3%			—	—	—
		子宮がん	21.4%	30.6%			—	—	—
がんの標準化死亡比 (SMR)	肺がん 男性	100.6	109.5※4	各疾患とも 減らす	—	厚生省統計情報部	—	—	—
	肺がん 女性	119.3	113.6※4		—		—	—	—
	大腸がん 男性	110.6	117.0※4		—		—	—	—
	大腸がん 女性	105.4	112.8※4		—		—	—	—
	乳がん	113.9	104.6※4		—		—	—	—

※1:「北海道健康増進計画『すこやか北海道21改訂版』」による北海道の数値。

※2: 糖尿病および循環器病に関する指導を受けた人の割合

※3: 平成 20 年度から実施

※4: 現況値は平成 17 年度の北海道内の平均値

★1★2:「日本人の食事摂取基準（2005 年版）」では、成人女性の食塩摂取量が 8g 未満となったため、これまでの指標を変更し、「食塩摂取量が 10g 未満の成人男性」と「食塩摂取量が 8g 未満の成人女性」とする。

★3: これまで、がん検診の受診率の目標は 30%としていたが、平成 19 年度から「がん対策基本法」が施行され、平成 19 年 6 月に国が策定した「がん対策推進基本計画」では、5 年以内に各種がん検診の受診率として 50%を目標とすることが掲げられたことから、目標値を 50%に変更する。

（９）健康危機管理

指 標		計画 策定時 の値	現況値	目標	評価	現況値出典	全 国		
							計画策定時 の値	現況値	目標
変更 ↓	麻しんの予防接種を受けた 1 歳 6 か月児	84.3%	93.0%	95%以上	○	平成 18 年度母子保健に関する市民意識調査	70.4%	85.4%	95%
★1	麻しん予防接種を受けた 1 歳児	—	85.1%	95.0%	△	平成 18 年度実績	—	—	—
☆1	麻しん予防接種を受けた就学前年の児	—	82.6%	95.0%	△	平成 18 年度実績	—	—	—
	インフルエンザの予防接種を受けた 65 歳以上の人	29.5%	51.1%	増やす	○	平成 18 年度実績	—	—	—
	札幌市食品衛生管理認定制度の認定施設数	0 カ所	22 カ所	増やす	○	平成 19 年 3 月現在	—	—	—
☆	H1N1 感染者届出数のうち、発病してからの届出数	—	27.0%	減らす	△	平成 18 年度実績	—	—	—

★1★1: 平成 18 年度の予防接種法の制度改正により、第 1 期（生後 12 か月から 24 か月未満）に、麻しん風しん混合ワクチンを 1 回、さらに第 2 期（5 歳以上 7 歳未満で小学校に就学する前年の 4 月から 3 月末まで）にもう 1 回行うこととなったため、指標についても「1 歳 6 か月児」を変更し、「1 歳児」「就学前年の児」とする。

4 札幌市の取組状況（主な事業等）

（１）母子保健

①思春期のこころと身体の健康づくり

事業名	概要と実績				
思春期ヘルスケア事業	市内の小・中・高校の児童・生徒を対象とし、各区保健センターの専門職が、授業の一環として性（生命）や性感染症等に関する健康教育を行っています。また、中学生に対し、乳幼児とのふれあい体験学習を行っています。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	実施回数	56 回	87 回	118 回	99 回
	参加人数	8,796 人	11,175 人	15,263 人	15,756 人
若者の性の健康相談	10 代 20 代の方を対象に、性や性感染症・避妊等の悩みについて各区保健センターで相談を行っています。				
			III7 年度	III8 年度	
	医療機関相談件数		7,712 件	7,071 件	
	保健センター相談件数		107 件	125 件	
子どもアシストセンター相談・指導事業	思春期の子どもたちの様々な課題に対処するために、電話・面談による相談や街頭における巡回指導などを行っています。				

②生涯を通した女性の健康づくり

事業名	概要と実績				
妊婦一般健康診査	妊婦を対象として、市内の医療機関に委託して、妊娠中に 1 回健康診査を実施しています。 （平成 19 年 10 月から 5 回に拡大。超音波検査は廃止）				
	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	
	一般健診	14,695 人	13,739 人	14,034 人	14,188 人
	超音波検査	1,943 人	1,820 人	1,957 人	2,216 人
妊婦甲状腺機能検査	妊婦を対象として、甲状腺機能異常の早期発見、早期治療を図るため、血液によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。				
	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	
	検査人数	8,555 人	8,555 人	8,511 人	9,302 人
母子健康手帳の交付	妊娠届出書を提出した妊婦に対して、各区保健センターで交付しています。				
	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	
	人 数	15,686 人	14,901 人	15,264 人	15,330 人
母親教室	初妊婦およびその配偶者を対象として、各区保健センターで妊娠、出産、育児等に関する保健指導を実施しています。				
	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	
	開催回数	460 回	465 回	472 回	459 回
	参加延人数	9,783 人	9,238 人	9,953 人	10,416 人

事業名	概要と実績						
両親教室・父親教室	初妊婦およびその配偶者を対象として、各区保健センターで妊娠、出産、育児等に関し、主に父親の役割を中心に保健指導を実施しています。						
	H15 年度				H16 年度	H17 年度	H18 年度
	開催回数	42 回	39 回	38 回	38 回		
	参加延人数	2,934 人	2,645 人	2,749 人	2,671 人		
ワーキング・マタニティスクール	働きながら出産・育児をする初妊婦およびその配偶者を対象として、働きながら妊娠、出産、育児等をするために必要な保健指導等を実施しています。						
	H15 年度				H16 年度	H17 年度	H18 年度
	開催回数	6 回	12 回	12 回	10 回		
	参加人数	479 人	513 人	600 人	501 人		
思春期・婚前健康教育等	家族計画、母性保護等について正しい知識の普及指導をしています（各区保健センター）。						
	H15 年度				H16 年度	H17 年度	H18 年度
	開催回数	67 回	77 回	59 回	37 回		
	参加人数	7,783 人	9,466 人	6,727 人	2,677 人		
妊産婦・母性健康相談	妊産婦の異常の早期発見と予防、母性の健康保持増進のため、保健指導を実施しています（各区保健センター）。						
	H15 年度				H16 年度	H17 年度	H18 年度
	開催回数	665 回	622 回	903 回	922 回		
	参加人数	3,765 人	3,593 人	3,649 人	5,377 人		
離乳期講習会	乳児の母親を対象として、離乳に関する保健指導を実施しています（各区保健センター）。						
	H15 年度				H16 年度	H17 年度	H18 年度
	開催回数	165 回	166 回	164 回	(育児教室に計上)		
	参加人数	3,909 人	3,824 人	3,874 人	(育児教室に計上)		
育児教室	乳幼児と母親を対象に、子どもの発育、発達に応じた育児の保健指導や情報交換を行っています（各区保健センター）。						
	H15 年度				H16 年度	H17 年度	H18 年度
	開催回数	201 回	202 回	168 回	449 回		
	参加延人数	5,750 人	5,092 人	4,507 人	13,603 人		
女性の健康相談	思春期から更年期の女性に起こりやすい健康問題に対する相談・保健指導を実施しています（各区保健センター）。						
	H15 年度				H16 年度	H17 年度	H18 年度
	開催回数	189 回	183 回	167 回	185 回		
	参加人数	553 人	533 人	596 人	849 人		
女性のフレッシュ健診	健康診査の機会に恵まれない 18 歳から 39 歳までの家庭の主婦、自営業の女性を対象とし、札幌市中央健康づくりセンターで健康診査を実施しています。						
	H15 年度				H16 年度	H17 年度	H18 年度
	受診者数	1,273 人	1,192 人	1,192 人	1,264 人		
遺伝相談	保健所において、専門医による心身障害や先天性異常の遺伝的要素等についての相談を実施しています。						
	H15 年度				H16 年度	H17 年度	H18 年度
	実施回数	13 回	13 回	9 回	11 回		
	参加人数	30 人	30 人	28 人	11 人		
マタニティマークストラップの配付	妊娠初期は、妊婦であることが分かりにくく、周囲の理解が得られにくいと、平成 18 年 6 月から保健センターでの母子手帳交付時にマタニティマークストラップを配付するほか、公共施設や地下鉄車内にポスターを掲示して、マークを目にした方が妊婦の健康に配慮できるよう普及啓発を行っています。						
不妊専門相談	不妊に悩む市民に対し、専門医およびカウンセラーが相談を実施しています。						
	H17 年度				H18 年度		
	実施回数	16 回			33 回		
	相談者数	31 人			47 人		

③子どものすこやかな成長への支援

事業名	概要と実績				
先天性代謝異常等検査	新生児を対象として、先天性代謝異常等の早期発見、早期治療を図るため出生した市内の医療機関で採血し、市衛生研究所で検査を実施しています。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	検査人数	17,049 人	17,049 人	16,031 人	16,862 人
神経芽細胞腫スクリーニング検査	1 歳 6 か月児を対象として、神経芽細胞腫の早期発見、早期治療を図るため尿によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。				
		Ⅲ15 年度	Ⅲ16 年度	Ⅲ17 年度	Ⅲ18 年度
	検査人数	11,690 人	11,690 人	11,307 人	8,613 人
胆道閉鎖症検査	1 か月児を対象として、胆道閉鎖症の早期発見、早期治療を図るため、便色調によるスクリーニング検査を市衛生研究所で実施しています。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	検査人数	15,205 人	15,279 人	14,543 人	14,704 人
4 か月児健康診査	4 か月児を対象として、健全育成と異常の早期発見を図るため健康診査と保健指導を実施しています（各区保健センター）。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	人 数	14,674 人	14,636 人	14,197 人	14,610 人
1 歳 6 か月児健康診査	乳児から幼児への移行期にあたり、身体・精神および行動発達状況をチェックするとともに、育児指導、歯科健診を実施しています（各区保健センター）。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	人 数	13,818 人	12,967 人	13,410 人	13,198 人
3 歳児健康診査	幼児期における身体および精神の発達状況をチェックするとともに歯科健診、保健指導を実施しています（各区保健センター）。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	人 数	13,098 人	13,218 人	13,262 人	13,431 人
乳幼児健康診査	健全育成を図るため、10 か月児および経過観察を要する乳幼児に対し、健康診査と保健指導を実施しています（各区保健センター）。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	人 数	14,727 人	14,879 人	14,219 人	14,497 人
乳児・1 歳 6 か月児・3 歳児精密健康診査	健康診査の結果、精密健診を要する乳児・1 歳 6 か月児および 3 歳児に対し、市内の医療機関に委託し、実施しています。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	件 数	2,530 件	2,626 件	2,461 件	2,644 件
母子保健訪問指導	妊産婦、未熟児、新生児等を対象として、各区保健センター職員及び母子保健訪問指導員により家庭訪問を行い、必要な保健指導を実施しています。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	妊産婦	9,763 人	9,729 人	9,426 人	10,064 人
	新生児	8,396 人	8,498 人	8,221 人	8,551 人
	未熟児	1,316 人	1,079 人	943 人	1,101 人
乳幼児精神発達相談	言語・情緒発達に心配のある乳幼児とその親に対し、子どもの発育・発達を促すとともに、良好な親子関係の構築と育児不安の軽減を図るため、各区保健センターにおいて個別の発達相談を行っています。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	延べ件数	1,327 件	1,251 件	1,270 件	1,558 件
保健と医療が連携した育児支援ネットワーク事業（育児支援家庭訪問事業）	市内の医療機関において、「育児支援が必要」と判断された親子に対し、医療機関と保健センターが連携を図りながら育児不安の軽減および児童虐待発生予防のために家庭訪問等による育児支援を行っています。				

事業名	概要と実績
児童虐待予防・防止連絡会議	児童虐待予防・防止に関して活動している関係機関を集め、情報の共有化、事例検討等を行い、連携の強化を図っています（児童福祉総合センター）。
区児童虐待予防・防止ネットワーク事業	各区保健センターにおいて、児童虐待予防・防止、早期発見および虐待事例への円滑な支援を行う地域ネットワークを構築するため、関係機関代表者による連絡調整会議、事例検討会、研修会等を行っています。
児童虐待予防地域協力員養成事業	児童虐待の早期発見・早期対応を図るため、民生委員児童委員、主任児童委員、青少年育成委員等を対象に研修会を開催し、児童虐待予防地域協力員の養成を行っています（児童福祉総合センター）。
夜間急病センター事業	夜間の救急患者の応急処置を行います。また、小児科においては患者の集中する土・日・祝日の準夜帯（午後 7 時～午前 0 時）に医師を増員するなど診療面を強化しています。 《夜間急病センター》住所：札幌市中央区大通西 19 丁目 WEST19 1 階・2 階
休日救急当番運営事業・二次救急医療機関運営事業	小児救急医療について、平成 16 年度から初期救急医療体制の休日における当番施設数を増やすとともに、二次救急医療体制を土曜日及び休日のみの体制から年間全日に移行し、充実・強化を図っています。
幼児教育相談	就学前の幼児の発達上の問題、幼稚園等における適応上の問題、保護者の子育ての悩みなどに関する教育相談を来所および電話で行っています（市教育センター）。
教育相談	不登校や特別支援教育に関わる教育相談を来所および電話で行っています（市教育センター）。

(2) 栄養・食生活

事業名	概要と実績																													
食育推進会議の開催	食育推進計画の策定、その進捗に関すること等を審議するため、平成 19 年 4 月に「札幌市食育推進会議」を条例により設置しました。委員は、学識経験者、食に関係する団体の代表者、市民委員で構成されています。																													
食生活指針推進事業	「健康」分野に加えて、「地産地消」や「環境に配慮する食生活」などの「食育」の観点を取り入れた「札幌市食生活指針」を平成 17 年 3 月に改正しました。この普及啓発のために、平成 17 年 10 月には「食育推進フォーラム 2005」を開催いたしました。また、平成 18 年 3 月には、この指針の具体的な取組を示した「札幌市食生活指針ガイド」を作成し、食育の普及啓発事業に取り組んでいます。																													
栄養推進連絡会議	「健康さっぽろ 21」の「栄養・食生活」領域の推進のために、庁内の栄養関係者の連絡会議を開催し、野菜摂取強化事業や食生活改善普及月間などを関係局と連携を図りながら実施しています。																													
野菜摂取強化事業	市内の給食施設やボランティア団体、野菜販売店等と連携し、市民に野菜摂取の喚起を図ることを目的として、平成 16 年(2004 年)から 8 月を野菜摂取強化月間と定め市民啓発を行っています。また、平成 18 年 4 月から野菜摂取促進を図るために、『毎月、「1 日」は、野菜の日』を制定し、野菜販売店等と協働事業を行っているほか、平成 19 年 2 月に、「やさい食べチャオ！」PR ソングの CD を製作し、野菜摂取の普及啓発を行っています。																													
特定給食施設指導	1 回 50 食以上、または 1 日 100 食以上の人に給食を提供している特定給食施設の給食の適・否が給食を受ける人の健康状態に大きく影響を及ぼすことから、市内の病院、事業所、幼稚園等の約 600 施設の給食施設管理者等に対して栄養管理指導を行うとともに、「健康さっぽろ 21」に係る啓発事業を行っています（保健所）。 <table><tr><td></td><td>H15 年度</td><td>H16 年度</td><td>H17 年度</td><td>H18 年度</td></tr><tr><td>指導回数</td><td>630 回</td><td>615 回</td><td>623 回</td><td>623 回</td></tr><tr><td>指導施設数</td><td>977 カ所</td><td>966 カ所</td><td>963 カ所</td><td>915 カ所</td></tr></table>						H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	指導回数	630 回	615 回	623 回	623 回	指導施設数	977 カ所	966 カ所	963 カ所	915 カ所										
	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度																										
指導回数	630 回	615 回	623 回	623 回																										
指導施設数	977 カ所	966 カ所	963 カ所	915 カ所																										
食生活改善地区組織活動	食生活改善推進員が中心となって、健康づくりに役立つ食生活改善について、調理実習等を含む講習会や食生活改善展を実施するほか、地区巡回活動による食生活面の相談・助言等を行っています（保健所・各区保健センター）。 <table><tr><td></td><td>H15 年度</td><td>H16 年度</td><td>H17 年度</td><td>H18 年度</td></tr><tr><td>食生活改善展</td><td>21 回</td><td>19 回</td><td>19 回</td><td>15 回</td></tr><tr><td></td><td>18,466 人</td><td>9,580 人</td><td>8,685 人</td><td>7,812 人</td></tr><tr><td>栄養講習会</td><td>478 回</td><td>493 回</td><td>467 回</td><td>649 回</td></tr><tr><td></td><td>21,879 人</td><td>21,755 人</td><td>24,208 人</td><td>22,828 人</td></tr></table>						H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	食生活改善展	21 回	19 回	19 回	15 回		18,466 人	9,580 人	8,685 人	7,812 人	栄養講習会	478 回	493 回	467 回	649 回		21,879 人	21,755 人	24,208 人	22,828 人
	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度																										
食生活改善展	21 回	19 回	19 回	15 回																										
	18,466 人	9,580 人	8,685 人	7,812 人																										
栄養講習会	478 回	493 回	467 回	649 回																										
	21,879 人	21,755 人	24,208 人	22,828 人																										
食生活改善推進員養成事業	食生活改善の地域改善活動推進の担い手である食生活改善推進員を養成するため、所定のカリキュラムに基づく養成講座を実施しています（各区保健センター）。 <table><tr><td></td><td>H15 年度</td><td>H16 年度</td><td>H17 年度</td><td>H18 年度</td></tr><tr><td>推進員数</td><td>2,679 人</td><td>2,604 人</td><td>2,522 人</td><td>2,269 人</td></tr><tr><td>修了者数</td><td>219 人</td><td>169 人</td><td>180 人</td><td>178 人</td></tr></table>						H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	推進員数	2,679 人	2,604 人	2,522 人	2,269 人	修了者数	219 人	169 人	180 人	178 人										
	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度																										
推進員数	2,679 人	2,604 人	2,522 人	2,269 人																										
修了者数	219 人	169 人	180 人	178 人																										
栄養相談と栄養講習会	個々人に応じた適正な食生活を支援するための個別の栄養相談と、離乳食などの子どもの食生活に関する講習会や糖尿病などを予防するために食生活について学ぶ栄養講習会を実施しています（各区保健センター）。 <table><tr><td></td><td>H15 年度</td><td>H16 年度</td><td>H17 年度</td><td>H18 年度</td></tr><tr><td>個別栄養相談</td><td>52,109 人</td><td>53,178 人</td><td>52,143 人</td><td>69,122 人</td></tr><tr><td>栄養講習会</td><td>1,106 回</td><td>1,333 回</td><td>944 回</td><td>1,520 回</td></tr><tr><td></td><td>28,399 人</td><td>29,841 人</td><td>22,698 人</td><td>42,360 人</td></tr></table>						H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	個別栄養相談	52,109 人	53,178 人	52,143 人	69,122 人	栄養講習会	1,106 回	1,333 回	944 回	1,520 回		28,399 人	29,841 人	22,698 人	42,360 人					
	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度																										
個別栄養相談	52,109 人	53,178 人	52,143 人	69,122 人																										
栄養講習会	1,106 回	1,333 回	944 回	1,520 回																										
	28,399 人	29,841 人	22,698 人	42,360 人																										

事業名	概要と実績				
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く 40 歳以上の人を対象とし、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、管理栄養士等を講師として保健教室を開催しています。				
		H16 年度	H17 年度	H18 年度	
	一般健康教育（栄養・食生活）	363 回	361 回	329 回	
		12,696 人	12,038 人	10,475 人	
外食・加工食品の栄養成分表示普及事業	市民自らが健康づくりを行うために外食や加工食品の栄養成分表示により、適正な情報提供を行うことが必要となっています。表示を普及させるために関係業者に対し、表示の普及啓発と方法等の指導を行っています。また、市民に対しては、表示された栄養成分が理解できるように啓発事業を行っています（保健所、各区保健センター）。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	栄養成分表示の店登録数	490 店	506 店	517 店	1,021 店
	加工食品等指導・相談件数	152 件	185 件	296 件	149 件
	市民啓発人数	5,047 人	7,735 人	11,292 人	10,909 人
にこにこテーブル事業	妊娠中の方や、0～4 歳児のお子さんを持つ保護者を対象とした献立のアイデアなどをホームページ「健康さっぽろ21」で、平成18年3月から募集・掲載しています。				
親子料理教室	幼稚園児・小・中学生とその保護者を対象として、親子が健康づくりのための食生活を学ぶ料理教室を夏・冬休みの間に各区保健センターや学校等で行っています。				
		H16 年度	H17 年度	H18 年度	
	開催回数	21 回	21 回	22 回	
	市民参加数	848 人	822 人	958 人	
マタニティクッキング教室	初妊婦とその配偶者を対象に、妊娠中の食生活の重要性を普及啓発するとともに、生活習慣病を予防する食生活について学ぶ料理教室を各区保健センターで実施しています。				
		H16 年度	H17 年度	H18 年度	
	開催回数	34 回	52 回	59 回	
	市民参加数	461 人	749 人	799 人	
健康料理フェスティバル	平成 15 年から健康的でバランスの良い食生活を進めるために、札幌市調理師団体連合会との共催により、市内のホテルを会場として、年 1 回、健康料理フェスティバルを開催しています。（市民参加数、1 回 250 名）				
男性の料理教室	健康に関する食生活を学びながら調理の実践を促し、地域の自主活動グループ等へ参画していくこと等を目的として、平成 18 年度から「男性の料理教室」を開催しています。				
		H18 年度			
	開催回数	21 回			
	市民参加数	351 人			
エコクッキング講座	健康と環境に配慮した食生活を進めるために、「エコクッキング講座」を開催しています。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	開催回数	100 回	281 回	449 回	392 回
	市民参加数	3,368 人	6,828 人	9,234 人	8,193 人
ここから健康づくり応援団（外食料理成分表示実施店）	札幌市の要領に沿ってエネルギーなどの栄養成分表示を継続して 3 メニュー以上実施している外食料理店にステッカーを配布し、「ここから健康づくり応援団」としてホームページ「健康さっぽろ 21」に店舗名を掲載しています。				

(3) 身体活動・冬季の健康づくり

事業名	概要と実績				
健康づくりセンター	医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士などの専門スタッフが、健康診断や体力測定などの結果を基に、生活・運動・栄養指導などを通じて、個人に合った健康づくりの実践プログラムを提供しています。				
	利用者数	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	中央健康づくりセンター	72,526 人	72,536 人	83,535 人	70,891 人
	東健康づくりセンター	27,612 人	25,741 人	28,496 人	31,900 人
	西健康づくりセンター	102,372 人	99,390 人	105,551 人	101,098 人
ヘルシーコミュニティ促進事業	健康づくりを行う自主活動グループの運営や活動に対して助成金を交付し、また、活動を始めようとするグループには、相談などによる支援をしながら地域住民の自主的で継続的な健康づくり活動を推進しています。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	助成金交付	95 グループ	130 グループ	118 グループ	115 グループ
	育成支援	22 グループ	13 グループ	23 グループ	13 グループ
健康づくりリーダー養成研修	地域において健康づくり活動の中心的役割を担い、地域に合った活動を展開していくため、各区保健センターで研修により地域での健康づくりを推進するリーダーの養成を行っています。				
健康づくりネットワーク促進事業	地域の健康づくり自主活動グループなどで構成される各区の健康づくり組織の活動活性化やネットワーク化を支援するために、各区保健センターでの研修のほか、「健康な地域づくり市民フォーラム」を開催しています。				
転倒予防教室	高齢者の転倒を予防するため、介護予防センターで転倒を予防するための体操などの介護予防教室を開催しています。				
さっぽろウィンターキャンペーン	雪道転倒防止と札幌らしい冬の暮らし方を市民とともに考え、作り上げていくために、札幌市のほか、開発局やNPO法人、民間企業などで推進協議会を設置して、ホームページを作成し、イベントや教室などのさまざまなキャンペーン活動を行っています。				
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く 40 歳以上の人を対象とし、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等を講師として保健教室を開催しています。				
		H16 年度	H17 年度	H18 年度	
	一般健康教育（運動）	202 回	259 回	216 回	
		8,452 人	9,848 人	8,692 人	

(4) 休養・こころの健康づくり

事業名	概要と実績			
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く 40 歳以上の人を対象とし、健康増進等に関して知識経験を有する医師・保健師等を講師として健康教室を開催しています。			
		H16 年度	H17 年度	H18 年度
	一般健康教育（休養）	44 回 2,031 人	19 回 1,075 人	16 回 868 人
札幌こころのセンター(札幌市精神保健福祉センター)	精神保健に関して、心の病の予防から精神障がいのある方の社会参加まで、幅広い活動支援を行っており、心の悩みや病について相談を受けている関係者に対し、研修の実施や情報提供をしています。また、思春期、ひきこもり、薬物依存症などの特定相談を受けています。			
心の健康相談・電話相談	精神疾患や心の悩み、対人関係などでお困りの方や家族に対して、療養方法や日常生活の相談を行っています（札幌こころのセンター）。			
精神科救急情報センター	夜間や休日に緊急の精神科医療を必要とする方からの電話相談を受け付け、病院との連携などのトリアージを行います。			
すこやか倶楽部	閉じこもりがちな高齢者を対象に、転倒予防や体力増進のための体操、各種レクリエーション、交流会などを地域やボランティアの協力のもと実施しています。			

(5) たばこ

事業名	概要と実績																																
受動喫煙防止対策ガイドラインの普及	市民、事業者、行政が一体となって受動喫煙防止対策に取り組むため、「受動喫煙防止対策ガイドライン」を作成し、普及啓発を行っています（健康衛生部）。																																
ここから健康づくり応援団 （禁煙・完全分煙施設）	「ここから健康づくり応援団」では、札幌市受動喫煙防止対策ガイドラインに沿って、禁煙・完全分煙している企業・商店にステッカーを配付するとともに、ホームページ「健康さっぽろ21」上に店舗名等を掲載しています。（平成17年度事業開始）																																
	<table><tr><td></td><td>H17年度</td><td>H18年度</td></tr><tr><td>禁煙・完全分煙施設</td><td>127カ所</td><td>198カ所</td></tr></table>					H17年度	H18年度	禁煙・完全分煙施設	127カ所	198カ所																							
		H17年度	H18年度																														
禁煙・完全分煙施設	127カ所	198カ所																															
札幌市未成年者喫煙防止イベント「NO！NO！スモークキング」	未成年者が楽しみながらたばこの害について学べるように、未成年者喫煙防止イベント「NO！NO！スモークキング」を平成17年度から開催し、たばこの害や条例などに関するポスターの展示のほか、たばこに関するクイズなどを行い、広く市民に喫煙防止についての普及啓発を行っています。																																
未成年者喫煙防止対策推進協議会の開催	未成年者の喫煙防止に関する事項を協議し、市民、関係機関、関係団体が一体となって未成年者を喫煙の害から守ることを目的として、平成18年10月に未成年者喫煙防止対策推進協議会を設置しました。同協議会は、保健医療関係団体・市民団体・地域の代表、企業、行政などで構成されています。（事務局：健康衛生部）																																
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く40歳以上の人を対象とし、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等を講師として保健教室を開催しています。																																
	<table><tr><td colspan="2"></td><td>H15年度</td><td>H16年度</td><td>H17年度</td><td>H18年度</td></tr><tr><td rowspan="2">個別健康教育（喫煙） （H17年度まで）</td><td>指導開始</td><td>186人</td><td>141人</td><td>192人</td><td>－</td></tr><tr><td>指導終了</td><td>81人</td><td>38人</td><td>65人</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="2">一般健康教育（たばこ）</td><td>－</td><td>11回</td><td>40回</td><td>10回</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>－</td><td>927人</td><td>2,179人</td><td>4,246人</td></tr></table>						H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	個別健康教育（喫煙） （H17年度まで）	指導開始	186人	141人	192人	－	指導終了	81人	38人	65人	－	一般健康教育（たばこ）		－	11回	40回	10回			－	927人	2,179人	4,246人
			H15年度	H16年度	H17年度	H18年度																											
	個別健康教育（喫煙） （H17年度まで）	指導開始	186人	141人	192人	－																											
		指導終了	81人	38人	65人	－																											
一般健康教育（たばこ）		－	11回	40回	10回																												
		－	927人	2,179人	4,246人																												
禁煙週間	世界禁煙デーに始まる禁煙週間に各保健センターでは、各種イベント、パネル展等を実施し、禁煙に係る知識の普及・啓発事業を実施しています。																																

(6) アルコール

事業名	概要と実績				
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く 40 歳以上の人を対象とし、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等を講師として保健教室を開催しています。				
母親教室（再掲）	各区保健センターでは、初妊婦およびその配偶者を対象として、妊娠、出産、育児等に関する保健指導を実施しています。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	開催回数	460 回	465 回	472 回	459 回
	参加延人数	9,783 人	9,238 人	9,953 人	10,416 人

(7) 歯の健康

事業名	概要と実績				
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く 40 歳以上の人を対象とし、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等を講師として保健教室を開催しています。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	一般健康教育（歯の健康）	—	30 回	40 回	20 回
		—	1,310 人	1,083 人	591 人
	集団健康教育（歯周疾患健康教育）	26 回	19 回	10 回	23 回
	928 人	661 人	278 人	593 人	
歯科相談	各区保健センターでは、乳幼児・妊産婦等を対象として、歯の健康づくりの普及を目的とした歯科相談、検診、予防処置を実施しています。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	開催回数	388 回	344 回	232 回	227 回
	参加人数	3,575 人	2,988 人	2,331 人	2,041 人
	乳幼児	2,887 人	2,363 人	1,774 人	1,417 人
	就学児	4 人	7 人	9 人	3 人
	妊産婦	298 人	343 人	353 人	567 人
	40 歳以上	141 人	95 人	65 人	10 人
	その他	245 人	180 人	130 人	44 人
	歯周疾患検診	40 歳、50 歳、60 歳、70 歳の人を対象に、札幌市指定の歯科医療機関で問診・口腔内診査による歯周疾患検診を行っています。			
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
受診者数		164 人	150 人	591 人	667 人
受診率		0.3%	0.3%	0.6%	0.7%
チャレンジむし歯ゼロセミナー		1 歳児を対象に、歯みがき習慣の形成や良い食習慣についての集団指導を、各区保健センターで実施しています。			
在宅要介護高齢者口腔ケア推進事業の実施	市内に住む 65 歳以上の在宅寝たきりの方で、歯科医院に通院することが困難な方のお宅を歯科医師が訪問し、診査の結果、必要に応じて治療を行っています。				

(8) 糖尿病・循環器病・がん

事業名	概要と実績					
健康教育	各区保健センターでは、職域を除く 40 歳以上の人を対象とし、生活習慣病の予防、健康増進等に関して知識経験を有する医師・歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士等を講師として保健教室を開催しています。					
	注) 平成 17 年度まで「40 歳以上」。平成 18 年度から「40 歳から 64 歳」(65 歳以上は介護保険事業の対象)。					
			H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	集団健康教育		1,253 回	1,090 回	1,001 回	876 回
			67,740 人	45,996 人	41,485 人	37,195 人
	一般健康教育		64,558 人	39,258 人	36,062 人	31,657 人
	歯周疾患健康教育		928 人	661 人	278 人	593 人
	骨粗しょう症(転倒予防)		680 人	1,117 人	321 人	583 人
	病態別健康教育		1,070 人	4,340 人	3,583 人	3737 人
	薬健康教育		435 人	456 人	776 人	625 人
介護家族健康教育		69 人	164 人	465 人	介護保険事業として実施	
健康相談	職域を除く 40 歳以上の人を対象とし、各区保健センターなどにおいて医師、保健師、栄養士等による健康に関する指導及び助言を行っています。					
			H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	総合健康相談		285 回	284 回	286 回	289 回
			18,814 人	18,165 人	16,718 人	17,244 人
	重点健康相談		562 回	553 回	455 回	248 回
			3,263 人	3,043 人	2,823 人	1,267 人
	高血圧		481 人	539 人	408 人	191 人
	高脂血症		1,137 人	939 人	966 人	451 人
	糖尿病		212 人	245 人	180 人	84 人
	歯周疾患		141 人	95 人	65 人	44 人
骨粗しょう症		40 人	30 人	141 人	(17 年度まで)	
病態別		1,252 人	1,195 人	1,063 人	497 人	
すこやか健診 (平成 19 年度まで)	職域を除く 40 歳以上の人を対象とし、年に 1 回健康診断を実施しています(指定の医療機関)。					
			H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	受診者数	145,235 人	153,376 人	158,586 人	165,701 人	
		受診率	47.4%	49.2%	50.0%	51.4%
生活習慣改善相談 (平成 19 年度まで)	各区保健センターでは、すこやか健診を受診した人のうち、「要指導」と判定され、生活習慣改善相談連絡書の発行を受けた人を対象に、食生活、運動、休養などの個人に即した具体的な生活習慣改善方法を示し、疾病の発生または進行を予防しています。					
			H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	相談者数	3,082 人	2,918 人	2,617 人	1,223 人	
胃がん検診	職域を除く 40 歳以上の方を対象に、問診や胃部 X 線撮影による胃がん検診を行っています(北海道対がん協会、指定の医療機関)。					
			H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	受診者数	50,037 人	49,721 人	47,663 人	48,474 人	
		受診率	12.0%	11.7%	11.1%	11.1%
大腸がん検診	職域を除く 40 歳以上の方を対象に、問診や免疫便潜血検査による大腸がん検診を行っています(北海道対がん協会、指定の医療機関)。					
			H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	受診者数	61,108 人	62,664 人	62,531 人	66,430 人	
		受診率	14.7%	14.8%	14.5%	15.1%

事業名	概要と実績				
子宮がん検診	職域を除く 20 歳以上で偶数歳の女性を対象に、問診や視診、子宮頸部細胞診、内診による子宮がん検診を行っています（北海道対がん協会、指定の医療機関）。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	受診者数	88,240 人	89,382 人	66,287 人	65,041 人
	受診率	24.5%	24.3%	31.5%	30.6%
乳がん検診	職域を除く 40 歳以上で偶数歳の女性を対象に、問診や視診、触診による乳がん検診を行っています（北海道対がん協会、指定の医療機関）。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	受診者数	52,549 人	52,076 人	26,463 人	26,900 人
	受診率	14.6%	4.0%	17.4%	17.3%
肺がん検診	職域を除く 40 歳以上の方を対象に、問診や胸部 X 線写真の読影（必要により喀痰細胞診）による肺がん検診を行っています（結核予防会札幌複十字総合健診センター）。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	受診者数	17,540 人	16,929 人	17,147 人	16,520 人
	受診率	4.2%	4.0%	4.0%	3.8%
肝炎ウィルス検診	すこやか健診受診者で、40、45、50、55、60、65、70 歳の方および広範な外科手術又は妊娠・分娩時に多量の出血をしたことがある方などを対象に、希望者に B 型・C 型肝炎ウィルス検査を行っています（指定の医療機関）。				
		H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度
	受診者数	10,657 人	11,372 人	11,300 人	11,431 人

（９）健康危機管理

事業名	概要と実績
感染症予防対策	①感染症に関する正しい知識の普及：感染症を予防するとともに、感染症患者に対する差別や偏見をなくすため、各種パンフレットや広報さっぽろなどのほか、マスコミ報道等を通して市民に感染症に関する正しい知識の普及に努めています。 ②結核・感染症発生動向調査：結核及び感染症の患者発生数等を収集・分析の上、教育委員会、市医師会等に還元するなど、感染症流行予測と予防啓発に役立てています。また、主要感染症について札幌市分のデータに独自の分析・コメントを加え、市衛生研究所ホームページ上で公開しています。
感染拡大防止対策	患者が発生したとき、必要に応じて保健所が感染症指定医療機関への入院勧告や特定職種への就業を制限するなどの措置を行っています。また、患者及び接触者の健康診断を行うほか、疫学調査を実施し、原因究明と感染拡大防止を図っています。
感染症健康危機管理	感染症に関する健康危機発生時に市民の生命を守り、感染の拡大を防止するため、平成 9 年度に情報の収集、分析、対応策の決定などについての具体的な指針として「札幌市感染症健康危機管理実施要領」を策定し、危機のレベルに応じた対策を講じています。
性感染症予防事業	思春期ヘルスケア事業や大学・専門学校・PTA等を対象とした健康教育、医療機関との連携により、性感染症予防および治療に関する正しい知識の普及啓発を行っています。また、健康診断による予防等の事業を行っています。
エイズ予防	①ポスター、パンフレット、リーフレットの作成や配付等による正しい知識の普及啓発を行っています。 ②保健所・保健センターと 16 か所の「エイズ協力専門医療機関」での相談窓口体制に加え、エイズコール（保健センターエイズ相談専用電話）及び土・日曜日のエイズ電話相談を実施しています。 ③世界エイズデー（12 月 1 日）関連事業として、道及びエイズ予防財団との共催によるエイズ予防啓発事業を開催しています。 ④各区保健福祉部医師、看護師のカウンセリング研修等への参加を行っています。
HIV抗体検査	保健所・保健センターで毎月 2 回、匿名・無料の HIV 抗体検査を実施しています。また、夜間 HIV 検査を毎月、休日 HIV 検査を年 2 回実施しています。

事業名	概要と実績																			
結核の定期健康診断	結核予防法では、生後 6 か月に達するまでにBCG接種を行うこととされていますが、本市では 4 か月児健康診断時に併せて行っています。また、一般住民健診については、65 歳以上を対象に実施しています。																			
結核の接触者健康診断	結核のまん延を防止するため、患者家族及び家族以外の接触者等を対象として実施しています。																			
結核患者管理と家族検診	結核患者及びその家族に対して通知を出し定期的に検査を行っています。また、保健所の保健師が訪問し、受診勧奨及び生活上・治療上の指導を行っています。																			
予防接種事業	感染症予防のため、予防接種法に基づいて、定期予防接種を実施しています。 予防接種の種類：ポリオ、三種混合（百日咳、ジフテリア、破傷風）、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、BCG																			
健康・快適居住環境推進事業	室内空気環境をはじめとする、給水、排水などの居住環境全般にわたる 37 項目からなる「札幌市健康快適居住環境の指針」を策定しています（平成 13 年 4 月）。市民向けリーフレットも作成し、市民の居住環境の改善に役立てています。（保健所）																			
札幌市公共建築物シックハウス対策	市民が利用する公共建築物を対象に、建設から日常管理に至るまで、関連する全ての部局がシックハウス対策に取り組むため、平成 17 年 9 月「札幌市公共建築物シックハウス対策指針」を策定しました（保健所）。																			
市民相談事業	保健所では、家庭、地域等における食の安全や良好な生活環境を確保するため、種々の市民相談を実施しています。																			
高齢者インフルエンザ予防接種事業	65 歳以上の高齢者、または 60～64 歳の方で、心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいを持つ方（障害等級 1 級またはそれに準じる方）を対象に、市内の委託医療機関でインフルエンザの予防接種を実施しています。 <table><tr><td></td><td>H15 年度</td><td>H16 年度</td><td>H17 年度</td><td>H18 年度</td></tr><tr><td>接種者数</td><td>130,064 人</td><td>144,015 人</td><td>164,105 人</td><td>169,568 人</td></tr><tr><td>接種率</td><td>44.1%</td><td>47.1%</td><td>51.6%</td><td>51.1%</td></tr></table>						H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	接種者数	130,064 人	144,015 人	164,105 人	169,568 人	接種率	44.1%	47.1%	51.6%	51.1%
	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度																
接種者数	130,064 人	144,015 人	164,105 人	169,568 人																
接種率	44.1%	47.1%	51.6%	51.1%																
食の安全確保対策	①食の安全を確保するため、年度ごとに市民等の意見を取り入れた「札幌市食品衛生監視指導計画」を策定し、効率的かつ重点的な立入検査や衛生講習会等を行っています。 ②食品衛生パネル展や食中毒予防に関するパンフレット等により市民に対し正しい食品衛生知識の普及啓発を行っています。 ③「食の安全」市民フォーラムの開催等により、市民や食品事業者と食の安全確保に関する情報や意見の交換を行っています。 <table><tr><td></td><td>H15 年度</td><td>H16 年度</td><td>H17 年度</td><td>H18 年度</td></tr><tr><td>延べ立入検査数</td><td>50,452 回</td><td>57,716 回</td><td>52,169 回</td><td>50,014 回</td></tr></table>						H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	延べ立入検査数	50,452 回	57,716 回	52,169 回	50,014 回					
	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度																
延べ立入検査数	50,452 回	57,716 回	52,169 回	50,014 回																

市政等資料番号	01-H01-07-1174
広報印刷登録番号	19-1-107
保 存 期 間	5 年

平成 20 年 3 月
札幌市保健福祉局健康衛生部地域保健課

元気なまちづくりはあなたの健康づくりから



健康さっぽろ21
中間評価と今後の推進
平成20～24年度
2008～2012